

(1) 幼児の姿と教師の願い

※幼児の姿については省略

- 進級した喜びを感じながら、遊びや生活を進めていけるようにしたい。
- 幼児がしたい遊びを十分に楽しめるように、幼児が何をしたいのか受け止めながら教師も一緒に遊びの仲間に加わるようにしていきたい。幼児を遊びに誘ったり、教師が橋渡しをしたりしながら、自分のしたいことを楽しむ中で友達とのかかわりがもてるようにしていきたい。
- 自分の思いとは違う相手の存在や友達の思いに気が付けるように、トラブルになった時には教師がお互いの思いを言葉にして伝えながら、言葉のよさや必要性を感じられるようにしていきたい。

(2) ねらいと内容

- 自分の思いを態度や言葉で表現しながらしたい遊びを楽しむ。
  - ・ 自分のしたい遊びを見つけ、友達とかかわって遊ぶ。
  - ・ 自分の思いを言葉や動きで素直に表現する。

(3) 活動の内容（別紙）

(4) 評価の観点

- 自分の思いを素直に表しながら、したい遊びを楽しむことができていたか。
- 幼児の姿や言葉に耳を傾け、幼児の表現を引き出すよう必要な言葉を返したり共感したりすることができていたか。

### (3) 活動の内容

#### 自ら選んだ遊び

- ① 砂場で遊ぼう
- ② 粘土で遊ぼう
- ③ リズム遊びをしよう
- ④ シャボン玉で遊ぼう
- ⑤ 体を動かして遊ぼう
- ⑥ 自然物で遊ぼう
- ⑦ 一輪車で遊ぼう

